

【礼拝賛美】

「神の国と神の義を」(2回くりかえし)
神の国と神の義を ます求めなさい
そうすれば みな与えられる
ハレル ハレルヤ

「内外の支援を必要としている方々のために祈りましょう」

■ミャンマー大地震

教会から支援献金を2か所に送金しました。宛先は、ワールドビジョンとミャンマーで活動するA師です。それぞれ感謝のお便りをいただきました。

ワールドビジョンでは、4月20日までに151,509人(内、子ども48,852人)に食品、水、浄水剤やフィルターなどの水衛生設備を届けました。災害時の心のケア活動も行っています。今後は、水と衛生設備、仮設住宅などの安全な避難所、生活再建の支援が必要とされます。A師は、シオンはじめ日本の諸教会から集まった支援金を、とりわけ被害が大きかった地方部の被災地に3回にわたって届けたとのこと。その地方の被害は甚大で、周辺地域と繋がる橋が崩落。道路も損壊して通行ができない状況で、震災当初は内戦状態ということもあり、外との

往來はもちろん、外部と連絡を取る事さえ難しかったとのこと。なかなか救援隊も入ることができず、そのような状況で届いた日本からの支援金で現地の教会が食料や飲料水を購入し人々に配布。うれしさで泣いた被災者もいたそうです。8割の建物が損壊し、人手不足もあって復旧復興の目途は立ちません。現地では祈りと支援を必要としています。

掲示板にA師から届いたニュースレター、ワールドビジョンから届いた感謝のハガキを掲示しています。どうぞご覧ください。お祈りください。

蒲田シオン教会では、今後も世界宣教献金より支援献金を送金する予定です。

■有志ボランティアチームによる無料食品配布《次回―6月14日(土)》

物価高騰が生活を直撃しています。支援を必要としている方々からは、お米の必要が訴えられるなど切実な状況です。配布用の食品の寄付を受け付けています。5月中の日曜日は回収ボックスを玄関前に置きます。

先日、荻野牧師が関わっている上馬教会の片品村(群馬県)の伝道所の兄弟姉妹がボランティアのためにとお米を提供くださいました。

イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが重要な第一の戒めです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。』

マタイの福音書 22章37〜40節

新年度のスタートから1か月。5月に入りました。世の中はゴールデンウィークです。年度の区切りで慌ただしく日々を過ごした方にとっては、ゴールデンウィークでホッとひといきついているかもしれません。

この時期に祝日が集中して連休となるのは、4月から新年度が始まる日本社会にとっては大切なことかもしれません。

この時期、もう一つ話題となるのは、「五月病」。進学や就職、転居など新しい環境に代わる人が多い新年度。新しい環境への適応に苦勞する人は少なくありません。或いは、そのような大きな変化はなくても、心機一転、さ

あやるぞ、と意気込んだところが、それがストレスとなり心身のバランスを崩してしまうことがあります。

頑張ることが美德の日本社会では、気をつけないと、やる気が出ない自分、体がだるくて動くのが億劫に感じられる自分、そんな自分がだらしなくてダメな人間のように思えることがあります。けれども、そこで無理をすると余計に落ち込んで泥沼にはまり、益々苦しくなります。

大切なのは、自分をいたわることです。イエス様も仰いました。「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」。

私たちは、隣人を愛する、という点にばかり目がいきがちですが、見落としてはいけないのが、自分自身のように、という言葉です。イエス様が仰っているのは、本当に隣人・他者を愛して生かせるのは、自分自身を大切にできる人・自分をいたわる人だ、ということです。

愛は学習するものだといわれます。人は自分が愛されなければ、人を愛することはできないのです。だからこそ、自分をいたわることを忘れてはいけません。

それは自分の限界や弱さを認めることでもあります。自分に限界があり弱いからこそ、人は休息や気分転換が必要です。

時に私たちは真面目さのゆえに、休息が必要であるのに無理をして自分を酷使します。けれども、私たちは一人ひとりが神に愛された存在です。主イエス様が命を十字架に献げるほどに私たちは愛されています。主に愛された自分自身をいたわりましょう。(泰)

5月4日	聖日礼拝
小礼拝	9時 荻野牧師
聖日礼拝	11時 荻野牧師 榊原姉
前奏	
招詞	ゼカリヤ書2章10節
会衆賛美	聖歌392 神はひとり子を
会衆賛美	神の国と神の義を
主の祈り	
交読	詩篇8篇1～9節
	(旧約聖書 939頁)
礼拝祈禱	
使徒信条	
聖書朗読	マタイの福音書
	22章36～40節
	(新約聖書 47頁)
説教	自分を愛する
	荻野泰弘牧師
聖餐	(小礼拝は礼拝後)
会衆賛美	聖歌104
	なんという愛だろう
献金	
頌栄	聖歌376 父御子御霊の
祝福	
報告	
感謝祈禱	奏楽

【招詞(主の招きのことば)】
ゼカリヤ書2章10節「娘シオンよ、喜び歌え。楽しめ。見よ。わたしは来て、あなたのただ中に住む―主のことば―」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 礼拝後

■小学科礼拝 11時～3階

※ホザナ会は聖日礼拝と合同

■バイブルカフェ

12時15分～45分 談話室

■役員会

13時半～15時半 4階牧師室

【本日の礼拝奉仕者】

■小礼拝・オンライン配信

担当 荻野牧師

報告 荻野牧師

会場

配信

聖餐

配信チーム
荻野牧師

■聖日礼拝

礼拝祈禱

聖書朗読

献金1階

2階

献金祈禱

報告

会場

受付

パワポ

パワポチーム

聖餐

司会者
荻野牧師



【次週】5月11日(日)
母の日礼拝

《講師》 荻野まり子牧師
沼津シオン担任牧師



聖書箇所 創世記18章1～8節
説教題 「日常に顕れる主」

■小礼拝 午前9時
オンライン配信

■聖日礼拝 午前11時

いずれも、説教は荻野まり子牧師。

《午後》各会例会
主にある交わりにご参加ください。
ミモザ会とオリープ会は、荻野まり子牧師を迎えての合同例会です。

母の日はアメリカの教会で始まりました。「あなたの父と母を敬え」とのみことばが根底にあります。母親はもちろん、自分を育て導いてくれた人、支えてくれる目上の人への感謝の気持ちで新たな時としましょう。

・オールシオンホザナキャンプ
昨日より行われています。沼津からも参加者が加えられてメンバーが増えています。感謝です。明日までの予定です。参加している一人ひとりに主の語りかけがあり、それを受け止めることができるようにお祈りください。明日が最終日。主の守りもお祈りください。

日程 5/3(土)～5(月祝)
会場 横浜シオン教会
講師 国府田祝子師(こうだ よしこ)
〔参加者総勢〕29名(小中高生11名)

・今年度の礼拝説教箇所の予定
新年度を迎えました。今の時期は教会暦に沿ってイエス様の受難と復活をテーマに扱っています。来週は母の日と特別なスケジュールが続きますが、そこを越えて落ち着いたところではおもに左記の箇所を扱ってという計画しています。

荻野牧師 エペソ人への手紙
詩篇
林伝道師 ダビデの生涯から